

# 一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 30 年 2 月 13 日

議席番号 15 番

東村山市議会議長 様

質問者 土方 桂

## 記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>当市の農業について NO2</p> <p>東村山市で採れる野菜は、近隣市の中で種類も豊富で、味の評価も高い。久米川マルシェでは、遠くは青梅市、近隣市では東久留米市や小平市、所沢市からも来られる方もいて、大変に賑わっています。当市だけでなく、農地は食卓に新鮮で安心・安全な農産物を供給する事はもちろんの事、災害時における一時避難所や緑の空間を演出するなど、極めて重要な機能を有しています。また、小学校の食育にもかなり貢献しています。それらを踏まえ、当市のブランドとなっている農作物や、その農地に対して、以下質問致します。</p>
/	<p>多摩湖梨や多摩湖やぶどう、赤キウイのブランド化を確立する為に、果樹組合、JA、市で構成する推進チームでの、広報・PR 方法・ブランド名を決める等の作業の進捗状況を、伺う。</p>
2	<p>果樹の第 6 次産業の進捗状況と課題を、伺う。</p>
3	<p>①都市農業活性化支援事業補助金で行われた事業で、農家からどのような要望が有って、その要望に応えられたか、伺う。 また、1000 日を切った東京オリンピック・パラリンピックでの花卉農業の役割について、市はどのようなスケジュールで、どのような支援を考えているか、伺う。 ②東村山市全体の農業の活性化を、既存のイベントとは別に、新たな施策を考えているか、伺う。</p>
4	<p>①当市の農地保全に対する考え方を伺う。 ②都市農地保全支援プロジェクトに、参加した農家は何軒で、どのような事業を展開したか、伺う。 ③都市農地保全支援プロジェクト実施要綱の第 8 の区市町の推進体制とあるが、所管は、今後、当市の農業をどのように推進していくのか、伺う。</p>

## 土 方 桂

5	当市で採れる野菜を、すべて使った料理を提供して、食育を農家の方々と一緒に授業に参加する事を提案するが、見解を伺う。
6	学校給食に提供する野菜の事で、学校と農業者はどの時期に、どのような作物を支給できるか等の連携は、どのような形で行っているか、伺う。また、最近の野菜の価格高騰に対する対応はどの様になっているか、伺う。

## 一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 30 年 2 月 135 日

議席番号 15 番

東村山市議会議長 様

質問者 土方 桂

### 記

番号	質問の項目と要旨
2	<p>2020 年以降の教育について</p> <p>2020 年以降に、大学入試改革が始まるとされています。必然的に、高校・中学・小学校も教育の改革が必要とされます。特に英語教育や、AI に対する知識や ICT、プログラミングに対する知識も必然と高くなると思われます。</p> <p>当市は、「子育てするなら東村山」をスローガンとしている以上、「2020 問題」に対して、素早く着手する必要が有ると考え、以下質問致します。</p>
1	<p>2020 年「新学習指導要領」について、当市の教育委員会はどの様に理解し、どう進めていくか、伺う。</p> <p>①小学校の英語教育の早期化について</p> <p>②小学校から始まるプログラミング教育必修化について</p> <p>③中学校の英語授業の英語化について</p> <p>④中学校の英単語習得目標数の増加について</p>
2	<p>2020 年の教育改革について、現場の教師達にアンケートは行ったか、伺う。</p> <p>また、どの様な声が有って、「新学習指導要領」に対しての評価はどの様なものが有ったか、伺う。</p>
3	<p>今回の教育改革は、日本の子供たちが世界で活躍する為に必要と考え、改革を進めると聞いているが、当市は日々進化する AI 技術や IT 技術に関しての教育を、どの様に捉えているか、伺う。</p>
4	<p>上記の質問を踏まえ、当市の全小中学校により高度な ICT 化を早急に進めると考えるが、見解を伺う。</p>